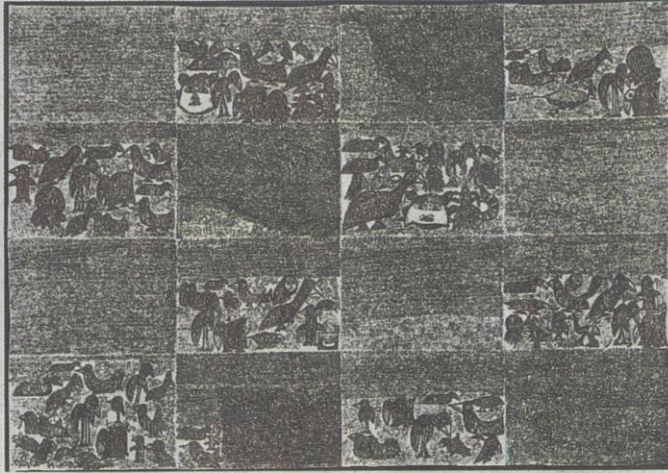


令和3年12月8日付山陰中央新報

感性豊か アートの世界



「鳥」・舟木伸夫さん



「大木」・山本千裕さん



「見えているもの」
・松岡達男さん



「空想画 八百万の神々」
・鹿島大佑さん

島根県内の障害のある人が制作した芸術作品を集めた「県障がい者アート作品展」を、インターネット上で鑑賞できるWEB展が開かれている。個性あふれる作品がいつでも鑑賞でき、市民の関心を集めている。

(増田枝里子)

「障がい者作品展」ネット上350点

県と、県障がい者文化芸術活動支援センターアートベースしまねいろいろが、芸術活動を通じて障害者の自立と社会参加を促そうと毎年開いている。絵画、彫刻、工芸、写真、書、手芸などジャンルはさまざま。映像作品もあり、最優秀賞5点、優秀賞15点、奨励賞20点を選ばれた。

最優秀賞を受賞した舟木伸夫さんの「鳥」はボールペンだけを使い、いろいろな姿をした鳥や文字を細かく描き上げた。WEB展の強みを生かし、画像を拡大して隅々まで作品の世界を楽しめる。審査委員長の福井一尊・県立大准教授は「作品一つ一つから表現する喜びがストレートに伝わってくる。このすてきな世界を楽しむ輪が広がってほしい」と鑑賞を呼び掛けた。



Web展
はこちら
はから



「般ニャー パートII」
・三浦孝文さん

31日まで全応募作品350点が鑑賞できる(1月1日以降は受賞作品のみ)。WEB展はQRコードから。

キッズ向け歌や踊り披露



練習を重ねた歌やダンスを披露する学生たち—松江
市浜乃木7丁目、県立大短期大学部松江キャンパス

【松江】島根県立大短期大学部保育学科1年の学生たちが10日、松江キャンパス（松江市浜乃木7丁目）で乳幼児向けに歌や劇を公演する「キッズシアター」を開いた。昨年同様、新型コロナウイルス感染症防止のため観客は先輩学生と教員のみ。1年生41人は子どもに披露してきたが、昨年に続き招待を見送った。1年生は入学直後から希望する演目ごとに7グループに分かれ担当。演劇のシナリオやダンスの振り付け、クイズの問題などを話し合っ、この日に向けた準備に熱を入れた。

10日は保育学科の2年生と教員計50人が見守る中、歌唱班は動物の衣装を着て軽快なダンスで観客を楽しませ、クイズ班はお使いをテーマに野菜や植物の種類を当てる問題を投げかけて楽しませた。このほか人形劇、オペレッタなど多様な演目があり、観客の先輩学生は「すごい」「頑張ってる」と子どもになりきり、合いの手や手拍子で後輩を盛り立てていた。

実行委員長の河野恋さん（19）は「子どもと触れ合えなかったのは残念だけど、先輩とともに楽しみなから準備してきたことを出し切れて良かった」と笑顔で話した。（中島諒）